

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：アイン弘明寺保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高橋 いずみ	定員（利用人数）：70名
所在地：〒232-0061 横浜市南区大岡2-16-5	
TEL：045-716-4152	ホームページ： https://www.ein-group.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年04月30日	
経営法人・設置主体（法人名等）：中央出版株式会社	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：11名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士（有資格）：21名 保育士（無資格）：2名
	モンテッソーリトレーナー： 1名 栄養士：2名
	調理員：3名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	乳児室1室 調乳室1室
	保育室5室 医務室1室
	事務室1室
	調理室1室
	屋外遊技場（園庭）

③理念・基本方針

<事業理念>

みらいを生き抜く力を育てる

<保育理念>

今の子どもたちが大人になる頃、多種多様な社会問題、環境変化を乗り越えないといけない時代です。

私たちは、子どもたちに挑戦する心、諦めない心、感謝の心を持ち、元気な大人になるための環境を提供します。

アイン保育園は、愛情を持った「共育」を実施し、生きる力と夢を持った子どもを育てます。

<保育方針>

- 1.安心・安全を第一に考える。
- 2.子どもと大人が共に学び、成長する。
- 3.利用者、地域のニーズに応える。

4.豊かな人間性を持った子どもを育成する。

④施設・事業所の特徴的な取組

＜アイン弘明寺保育園の特徴的な取り組み＞

- 各種園内・園外での研修
- 職員だけでなく、管理者も人材育成についての研修を受け、園内の保育の質を上げる努力をしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年08月28日（契約日） ～ 2021年04月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

【アイン弘明寺保育園の概要】

●アイン弘明寺保育園は、横浜地下鉄線弘明寺駅から徒歩4分程度の旧鎌倉街道沿いに位置し、園周辺は豊かな緑が残り、大岡公園をはじめ公園が点在し、積極的に散歩、公園へ出かける等、子どもたちが元気いっぱい体を動かせる環境があります。また、近くには長さ312mに亘り、約120店舗が立ち並ぶ弘明寺商店街（かんのん商店街）があり、園では「ファンメイキングプロジェクト」の活動で商店街へ出かけ、各商店へアンケートを配付して園の認知度を上げる活動や、商店街で子どもたちが買い物をする機会を設ける等、地域に根差す保育園として友好関係を育んでいます。

●アイン弘明寺保育園は、園長をはじめ、職員間のコミュニケーションが良好であり、そのチームワークを生かした保育体制を構築しています。園長は、当園に着任した年に、ワールドカフェ方式の会議を提案し、リラックスした雰囲気作りをして職員一人ひとりが自由に意見を述べられる環境作りに着手しました。常に職員の意見を積極的に取り入れ、事業理念に基づいた園独自のテーマ作りでは、皆の意見を集約して「自分も相手も大切にできる子どもを育てる～共に育つ～」を策定し、全職員が思いを一つにしてテーマに沿い、保育に当たっています。さらに、園長は毎月、職員との個人面談を実施し、職員会議で情報の明確化を図り、全体で共有をする体制を構築しています。アイン弘明寺保育園では、園長のリーダーシップの下、職員の意識統一により、子ども・保護者へ好影響を及ぼしています。

◇特に評価の高い点

1. 【5グリーティングスの実践】

●法人で前期「5グリーティングス」を定め、「地域1番の挨拶園になる」を掲げ、アイン弘明寺保育園では今期も継続して取り組んでいます。職員一同、「おはようございます」、「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」、「お疲れ様」、「さようなら」の挨拶を保護者、職員間で励行し、気持ちの良い挨拶、笑顔になる挨拶、そして地域で1番良い挨拶ができる保育園として実行しています。これらは事務室にも掲示し、職員がいつでも目に留め、気づきを促せるよう啓蒙しています。この取り組みは、保護者はもちろんのこと、園見学者からの評判も良く、また、子どもたちも職員が率先垂範する姿を見て学び、散歩時での地域の方への挨拶や、友だち同士でも自然と挨拶する姿勢が身についています。また、相手にありがたうの気持ちを素直に伝えられるよう、「Thank youカード」を取り入れ、感謝の言葉を伝えることの大切さ・喜びも伝えています。

2. 【人材育成・職員の質の向上への取り組み】

●法人主催の職員の教育・育成では、内定者フォロー研修、宿泊合同研修、新卒フォロー研修(入社3ヶ月後)、階層別のエリア研修(当園含む3園)、モンテッソーリ研修、全体研修(年2回)の体制が構築されており、職員の人材育成、質の向上に力を入れています。さらに、3年前から全体研修(2回目)では全国の法人系列園で研究発表会を開催しており、各園から保育に関する研究発表を行い、優秀賞を受賞した園にはトロフィーが授与される等、職員のモチベーションアップにつなげています。令和元年度はアイン弘明寺保育園が絵本を題材とした研究の発表(絵本製作)を行い、最優秀賞を獲得し、全職員のモチベーションアップと自信につながっています。また、絵本をテーマにしたことで職員の発想力、語彙力の向上につながる等、相乗効果も生まれています。アイン弘明寺保育園独自の育成では、法人のマニュアルに加え、園独自のマニュアルを作成し、全職員に配付し、マニュアルに職員としてのルール、業務手順等が分かりやすく網羅されている他、事業理念、園理念、園としてのテーマも記載され、昼礼等に読み合わせを行い、理解を深めています。また、2年前から各職員の担当表を作成し、年度ごとに担当を代え、マルチに園の業務を熟せる体制作りを構築し、透明性ある園作りに取り組んでいます。

◇改善を求められる点

1. 【地域交流のさらなる活発化】

●アイン弘明寺保育園では、毎年、敬老の日に近隣の高齢者を招き、園児のパフォーマンスを披露し、世代間交流を行っています。また、子どもたちと商店街に買い物に行き、商店との交流、地域貢献に努めています。しかしながら、周辺地域に保育園数も多いことから、現在、園では「ファンメイキングプロジェクト」と称す「ファン」作りを推進し、商店街にアンケートを配る等、園の認知度を上げる活動を実施しています。さらに、地域の子育て親子に向けて、南区役所主催の子育て支援イベント等への参加や、保育相談や育児相談の積極的な実施等、地域の子育て支援への足がかりとなるような種々の取り組みにも、より力を入れていかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：アイン弘明寺保育園

<評価に取り組んだ感想>

業務やマニュアル、責務を見直すことができ、改善につながる良い機会となった。また、評価を職員と行ったことで、園長・主任だけでなく一般職員もどのようなことが求められているか意識する機会となった。

利用者アンケートでは、保護者の方からは良いところと改善してほしいところと両方からご意見をいただいたので、日頃の取り組みに対して励みにもなり、改善点を把握することができた。

<評価後取り組んだ事として>

1. 利用者アンケートは職員で周知し、すぐに改善できる点は改善をしている。また、利用者アンケートでいただいたご意見に対し、園からの回答をし掲示。利用者様へのフィードバックを行っている。

2. 改善を望まれる項目を把握し、書類作成や組織図による体制づくり、利用者への発信方法等の改善に努めるための準備を行っている。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり